

犬や猫はたくさんさんの毛で被われており、毛で隠れた皮膚の状態までは普段あまり目がいけないものだと思います。犬猫の皮膚は人と比べて半分以下の厚さで、とても薄くデリケートなものをご存じですか？ 強くこするなど、物理的な刺激には非常に弱いのです。

皮膚が薄い分、犬猫は豊富な被毛に覆われています。人の毛穴から出ている毛は1本々数本ですが、犬猫の毛穴からは多いと数十本以上の毛が伸び出しています。

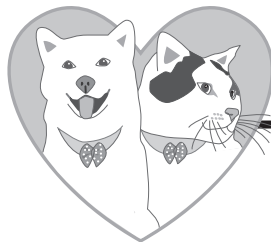
また、人の皮膚のpHは弱酸性なのに対して、犬や猫は弱アルカリ性の皮膚を持っています。犬猫用シャンプーは、犬猫の皮膚のpHに合わせてつくられているのです。

犬猫が人と同じように汗をかくのはイメージしにくいのではないのでしょうか？ 実は犬猫も汗をかきます。ただ、汗の質が人とは違っていて、毛穴から

愛するペットのために…Vol.384

松波動物病院分院
ペットアニマルクリニック瀬戸

動物看護師 桜庭麻佑



動物医のアドバイスダイアリー

【デリケートな犬猫の皮膚】

べたつきのある汗がジワジワと出ています。

とてもデリケートな犬猫の皮膚ですが、たくさんさんの毛で保護されているため、ある程度の健康は保たれています。けれども、何もケアをせずほったらかしにしていたら、いつトラブルが起ころうとおおしくありません。まず直接目でみて手で触れて、皮膚に異常がないか確かめましょう。

皮膚に関するトラブルは犬猫に多い病気で、症状も原因もさまざまです。痒みを伴う皮膚トラブルには、アレルギー性のものや細菌、真菌（カビ）などが原因のものが多くみられます。

代表的なものとして、以

下のようなものがあります。食物アレルギー、ノミアレルギー性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、膿皮症、疥癬（ヒゼンダニ）などです。もちろんこのような皮膚疾患がある場合は、獣医師の指示に従ってケアを行ってください。

自宅でスキンケアを行うことも大切です。定期的なシャンプーや日々のブラッシングを行うこと、スキンケア向けのフードに切り替えるのも有効です。

また、適度な温度と湿度を保ち、愛犬愛猫が過ごせる環境を快適に管理してあげましょう。もしシャンプーの頻度やフードなどで迷った時には、私たち看護師や獣医師にご相談ください。